

自然教室チームだより

11月・月例研修会

甘樫丘自然観察会 実施報告

11月18日(火)、国営飛鳥歴史公園4地区の1つ甘樫丘地区にて自然観察会を実施致しました。

当日は生憎の空模様にも拘わらず自然を愛する善男善女13名が集い「秋の木の実を見つけよう」をテーマに木本中心に植物観察を行いました。



配布資料の「甘樫丘で見られる秋の木の実のリスト」を参考に、ドングリをはじめ、赤い実、黒い実、甘い実、酸っぱい実と皆さん好みの

【集合写真・甘樫丘にて】 切り口で秋の自然を観察され堪能されました。

終わって見ればカクレミノ、サネカズラ、シャシャンボ、ナナミノキ、ピラカンサ、ナンテン、ユズリハ、ガマズミ、ホルトノキ、マユミ他この時期ならではの実を53種数える事が出来ました。



【サネカズラ】

【ピラカンサ】

恒例のインプリ(自然解説)ではクロガネモチとモチノキの違い、紅葉・黄葉・落葉のメカニズム、ホルトノキとヤマモモの違い等が披露されました。

甘樫丘縦走後は亀石・鬼の雪隠の巨石遺跡を廻り歴史公園館に予定通り到着解散と成りましたが、その道中にもこれまで余り目にしなかったアキカラマツや希少種のハウチャクソウ、筒状花の他に白い花弁状の舌状花を持ったコシロノセンダングサや黒点模様のクローバーとも遭遇、予想外の発見が有りました。

次回は是非皆様も御参加頂き、今度は御自身の目で何か新しい物を発見して頂ければと思います。

(辻本 信一)

まごころプロジェクトへの協力 第2弾

東日本大震災後の気仙沼市のボランティア団体と鹿折小学校への支援を続けておられる「まごころプロジェクト」さんに協力しました。

11月1日午後、午前中に芋ほりを終った子供を対象に自然環境クイズと自然工作を実施しました。天候が悪かったせいもあり、子供の参加は26名、スタッフ等が20名前後でした。当会からは9名のスタッフが参加しました。

前半は、サツマイモの芋の中身の色は？ 花は咲くのか？ どの植物と同じ仲間か？ 等々のクイズを行い、そのあと自然工作の題材を意識してドングリの種類は？ 芽と根はどこから出るのか？ 等のクイズを班対抗戦で行い、大人も子供もわいわいがやがやと賑やかに楽しんでもらいました。

イモを齧った犯人のコガネムシ(幼虫)を見せたところ、最初はギャーと悲鳴をあげた子もしいに触られるようになり、持って帰りたいという子も現れました。



後半は、ドングリの殻斗と輪切りした板を使ったクマのペンダント作りに挑戦してもらいました。みんな夢中になって製作に励んだ結果、材料は同じであったにも関わらず、目、耳、鼻の位置が作る人によって微妙な違いがあり、バラエティに富んだ表情豊かなクマが勢ぞろいしました。

当会からは鹿折小学校へのプレゼントとして鹿の折り紙を240匹提供し、収穫したサツマイモと一緒に送ってもらうよう依頼しました。なお、当日参加された子供達にも1匹ずつあげました。

(木村 裕)